

『節分』

2月3日は節分でした。ここ数年、めっきり豆をまかなくなった気がします。鬼を追い払うことよりも、恵方に向かって願い事をするイベントに変わってきている気がします。後始末も楽ちんですしね。そんなわけで、今年もみんなで海苔巻き作りを行いました。自分の分は自分で巻き上げます。まるかぶりは流石に恐ろしいのでやめておきます。鬼を追い払うより自分の幸せを願う。今の時代にマッチしてますね。

そんな近年の節分ですが、はなえくぼ江南には鬼が出現しました。見た目は可愛いロボチックな赤鬼で、皆の投げるつぶてを受け止めてくれる優しい赤鬼でした。みんな笑顔でつぶてを投げつけていました。

今回の料理自慢は、節分も兼ねて活躍して頂きました。ついに看板？のれん？を掲げるに至りました。他にも以前は誕生日ケーキもカットケーキを買ってきていましたが、こここのところは自作のデコレーションケーキを準備しています。主役の事を思いながら、いつも楽しくしてくれてありがとうございます。更なる進化を期待してしまいます。



『ローカルルールから解放か？』

介護職員の配置基準については都道府県、市町村によって多くのローカルルールが存在しています。グループホームでも市町村が違えばルールが違うことが多く、グループホーム間でも不公平感はありませんでしたが、その辺がしっかりと明文化され統一されるかもしれないということに期待感が膨らんでいます。現場に即したルールになると良いなあと思います。

ホームの重要事項等は法人のホームページや情報公表システム上に掲載する事になりそうです。時期になりましたら気になる方はチェックしてみてください。

『特殊詐欺に注意して』

先日50代男性が騙されてコンビニで数十万円分のプリペイドカードを買い求め店員に説得され被害にあわずに済んだというニュースを耳にしました。特殊詐欺の被害者は高齢者だと思っているだけに50代が騙されていることに驚いてしまいました。なにせ自分も50が目前になっているもので。油断している自分のような者が騙されるのです。気を付けます。インターネット上ではメールによる詐欺被害が広がっています。様々な有名企業を名乗ってメールを送ってきます。メールからURLをクリックする事は避けて、手間ではありませんが、サイトやホームページから直接アクセスする事で予防としています。

毎日のように特殊詐欺の予兆を示す事案の発生報告が行政の安心メールから送られてきています。用心して下さい。



『気持ちに寄り添う対応を』

認知症ケアをスムーズに行うポイントとして、介護する側のストレスケアがあります。認知症のBPSDは、本人が感じるストレスが原因で引き起こされることは、既に十分理解していると思います。そしてBPSDが介護者のストレスの原因になる事も、身に染みて理解している事でしょう。お互いがお互いにストレスを与えあい、更に大きなストレスの原因となる、負のスパイラルに陥っていくのです。これを食い止めるために必要になるのが、先に挙げた介護する側のストレスケアです。その方法としてよく言われることは

- ・1人で溜め込まない
- ・ケアの途中でも力を抜く
- ・自分の居場所・時間を作る
- ・気分転換できる楽しみを作る



認知症の人から受けたストレスを認知症の人に向けて放っても、より大きなストレスとなって自分に跳ね返って来るだけなので、外に向かって発散するのがスマートです。

自身の生活を守るためにも自身の健康を守ることが大切です。認知症ケアには必ず終わりが来ることも覚えておいてください。

今回は、はなえくぼ扶桑便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398
(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ
犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1
(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小杵町長者毛西132番地
(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ
www.gh-hanaekubo.com
ブログも時々更新しています